

令和4年度監察課の取組状況について

令和4年8月末現在

1 市のいじめの認知件数（教育委員会及び監察課が認知）

＜令和4年度＞ 計119件

【参考】

＜令和元年度＞ 計172件

＜令和2年度＞ 計169件

＜令和3年度＞ 計183件

2 監察課への通報相談件数

＜令和4年度＞ 通報・相談57件（いじめの認知22件）

【参考】

＜令和元年度＞ 通報・相談55件（いじめの認知11件）

＜令和2年度＞ 通報・相談69件（いじめの認知18件）

＜令和3年度＞ 通報・相談127件（いじめの認知42件）

3 通報ツールの内訳

＜令和4年度＞

- | | |
|----------------|---------------------|
| ○ いじめ通報促進チラシ | 相談・通報13件（いじめの認知5件） |
| ○ いじめ相談フリーダイヤル | 相談・通報15件（いじめの認知7件） |
| ○ いじめ通報アプリ | 相談・通報6件（いじめの認知0件） |
| ○ LINE相談予約 | 相談・通報0件（いじめの認知0件） |
| ○ メール | 相談・通報2件（いじめの認知2件） |
| ○ その他（来庁、電話等） | 相談・通報21件（いじめの認知8件） |
| ○ 合計 | 相談・通報57件（いじめの認知22件） |

4 その他の取組

○ いじめのサイン

- ・児童、生徒及び保護者がパソコン、スマートフォン等から「いじめのサイン『守ってあげたい』」にアクセスし、いじめについてのチェックを行うことで、いじめの兆候についての気づきを促進する。

アクセス実績数：634件（本人：302件、保護者：332件）

○ 子どもへの暴力防止プログラム（CAP）

・小学校3年生及び小学校6年生を対象に暴力防止に関する実践的なプログラムを提供

※6年生には人権教育の一環として「いじめ」に特化したプログラムを展開

実施状況：市内市立小学校113クラスに実施予定

○ いじめ通報促進チラシ配布状況（認知件数/通報・相談件数）

※小学校43,064枚 相談・通報11件（いじめの認知5件）

中学校21,836枚 相談・通報2件（いじめの認知0件）

○ いじめ事案再発防止への取組強化

監察課が行政的アプローチを行ったいじめ事案について、監察課による終結確認後のいじめ事案の再発防止に向けた取組を強化するため、保護者に対して手紙を送付するなどにより、終結後の状況確認としていじめの再発の有無や安全確保について確認を行っている。

○ いじめ被害者支援事業補助金〈活用実績なし〉

令和4年4月1日から、弁護士費用補助支援事業に加え、いじめにより被害者の所有物が被害を受け、加害側の保護者が被害者の所有物の補償ができないと認められるとき、当該所有物の原状回復に要する購入費（上限10,000円）を補助する制度を新たに設けている。

5 今後の取組

○ いじめ対策サミット開催事業

令和4年12月3日に市主催で、教育関係者や学識経験者、先進的な取り組みを進めている自治体の長、いじめ被害者等が一堂に会し、いじめ問題について様々な視点から意見交換などを行う「いじめ対策サミット」の開催を予定している。また、いじめを始めとする男女、ハラスメント、人種等のあらゆる人権問題について正しい理解と認識を深める機会を提供する「人として当たり前生きる権利を考えるつどい」も同時開催を予定している。